

第12回教育委員会（定例）議事録

1. 開 会

令和2年2月6日（金） 午後2時00分

2. 場 所

市役所本庁舎 401・402 会議室

3. 会議に出席した委員

教育長 前川 修哉

委 員 酒井 克典

委 員 中村 貴子

委 員 垣内 敬造

委 員 井上 友香

4. 会議に出席した職員

部 長 稲山 悟

次 長 酒井 宏

教育総務課長 小林 康弘

学 事 課 長 森本 康幸

学校教育課長 尾松 直樹

東部学校給食センター所長 酒井 直隆

西部学校給食センター所長 齋藤 昭

社会教育課長 柏戸 隆弘

文化財課長 村上 由樹

中央図書館長 樋口 裕昭

こども未来課長 前中 齊

総務課長補佐 麻田 英史

地域コミュニティ課長 谷掛 昭二

教育総務課係長 田中 真紀子

教育総務課主事 河野 元秀

5. 議事日程及び議案

別紙の通り

6. 開会宣言

午後2時00分

7. 会 期

（自）令和2年2月6日

（至）令和2年2月6日 1日間

8. 会議録署名委員名簿

中村 委員

9. 閉 会

午後 4時5分

前川教育長 全委員 前川教育長	<p>日程第1、第11回(定例)会議録の報告、承認について意見等はないか。異議なし。</p> <p>全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。</p> <p>日程第2、会議録署名委員は2番中村委員とする。</p> <p>日程第3、会期は令和2年2月6日、本日1日間とする。</p>
前川教育長	<p>日程第4、議案に移る。議案第1号の「『令和2年度丹波篠山の教育』の策定について」教育総務課説明を求める。</p>
小林課長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
中村委員	<p>年々内容が多くなっているように思うが、すでに消化された取組は削除されているのか。</p>
小林課長	<p>すでに終了した取組については削除しているが、継続して実施している取組は引き続き掲載をしている。新規、拡充事業も増えているので伴ってページ数が増加している状況である。</p>
酒井委員	<p>教育大綱などの各種プランと記載が若干異なるので、統一性を持たせるほうが良いと考える。例えば教育大綱では「丹波篠山学」、「高齢者大学オープン講座」、「早寝、早起き、朝ごはん」、「学校にヒーローをつくろう」という文言が記載されているが、今回作成予定の「丹波篠山の教育」には記載がないように思う。記載する必要はないのか。</p>
尾松課長	<p>「丹波篠山学」、「学校にヒーローをつくろう」について、同様の内容は継続して学習をしており、直接的な表現ではなくなっているが、今回作成の「丹波篠山の教育」にも記載をしている。直接的な表現に改め、整合性を持たせる必要があるということであれば、修正を行う。</p>
前川教育長	<p>関連箇所にかっこ書きで説明を加えるなど表現を工夫すれば、整合性が取れて分かりやすいのではないだろうか。</p>
小林課長	<p>これまでから教育大綱との繋がりが課題となっていた。今回作成する「丹波篠山の教育」から、大綱のどの部分と関連があるのか分かりやすいような記載に変更している。教育大綱と同じ表現はできていない箇所があるかと思うが、連動については改善が図れていると考える。</p>
酒井委員	<p>同様の表現ができていない箇所についても整合性がとれるように工夫いただいていることは理解した。今後も分かりやすくなるよう工夫を続けてほしい。</p> <p>環境教育はこれからの未来を生きる子どもたちにとって、必要であると考ええる。子どもたちがより良い生活を送れるように体系的な環境教育を取り入れてほしい。次年度以降環境教育に関する記載が増えることを期待する。</p>
前川教育長	<p>先ほどの意見を参考にして、各学校の教育課程の中に環境教育を組み込む</p>

	<p>ことができないか確認をする。</p> <p>本日「丹波篠山の教育」の『はじめに』を配布している。これから求められる学力が変わり、教育は「社会のニーズに応えること」、「社会をより良きものにすること」を目標に掲げて展開されていくことになる。国連では、「持続可能な開発目標」を掲げているが、一人一人が主体的に「自分をより良く変える」活動の総和が、これにも通じていくのではないかと考える。バラバラだった知識が結びついた時に学ぶことの深さを体験する。そんな質の高い教育を夢見ながら、明日に向かって種を蒔く教育としたい。</p>
垣内委員	<p>「持続可能な開発目標」は教育でも取り組まなければならない考え方であると思う。『はじめに』で触れていただけて丹波篠山市の教育の方向性がよく分かった。</p>
中村委員	<p>これからの方向性が良く分かったが、「見える学力」には今後も注力してほしい。</p>
前川教育長	<p>「見える学力」を軽視しているわけではなく、知識を活用していくことが重要であると考え。引き続き、「見える学力」の向上を行いながらこれからの学力を養っていきたい。</p>
酒井委員	<p>学力について、塾に通えない貧困世帯へどのようなフォローをするのかを考えていかなければならない。具体例を示せるように検討を進めてほしい。</p>
垣内委員	<p>淡路市立北淡小学校を視察させてもらい、改めてタブレット等のICT機器を活用していくことが重要であると感じた。教育に活用できるよう、耐用年数、性能、予算等様々な状況を鑑みながら効果的な導入、活用を検討してほしい。</p>
前川教育長	<p>議案第1号の「『令和2年度丹波篠山の教育』の策定について」異議はないか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
前川教育長	<p>全員賛成で、議案第1号の「『令和2年度丹波篠山の教育』の策定について」を可決する。</p>
前川教育長	<p>議案第2号の「丹波篠山市学校跡地施設の管理運営に関する要綱を廃止する要綱の制定について」教育総務課説明を求める。</p>
小林課長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
垣内委員	<p>現在、旧大芋、旧福住小学校の位置づけはどのようになっているのか。</p>
小林課長	<p>旧大芋、旧福住小学校は現在、地域コミュニティ活性化施設への移行期間で、市民協働課が管理している。令和2年4月1日からは条例改正を行い、地域コミュニティ活性化施設としての運用が開始となる。旧後川小については、今後、地域コミュニティ活性化施設へ移行する予定で、協議を進めるために市民協働課へ所管替えを行い、活用方法の検討を進めていく予定である。</p>

酒井委員	本来は、廃校後すぐに所管替えを行っていただければスムーズに対応できたはずである。今後統廃合はないと思うが、同様の状況とならないように気を付けてほしい。
稲山部長	酒井委員の意見のとおりであるが、平成 22 年度の城東小学校への統合時、初めての統合ということで地域から様々な意見があり、意見を尊重することと内部協議の結果、西宮市の事例を参考に複合教育施設として位置づけて、教育委員会で引き続き管理することとなった。多紀小学校の統合時にも同様のことから継続して教育委員会での管理が行われた。
前川教育長	議案第 2 号の「丹波篠山市学校跡地施設の管理運営に関する要綱を廃止する要綱の制定について」異議はないか。
全委員	異議なし。
前川教育長	全員賛成で、議案第 2 号の「丹波篠山市学校跡地施設の管理運営に関する要綱を廃止する要綱の制定について」を可決する。
前川教育長	日程第 5、報告事項に移る。報告 1「寄附採納について」教育総務課報告を求めらる。
田中係長	《議案書に基づき報告》
垣内委員	寄附いただいた光るキーボードは他の学校にもあるのか。寄附いただく物品については、学校からの希望を伝えているのか。
酒井次長	どの学校にもあるわけではなく、寄附者の厚意によっていただいている物であり、寄附の物品の選定は寄附者の意思である。
酒井委員	今回の寄附者は以前にも寄附をしていただいている。本当にありがたい。
前川教育長	報告 2「後援名義の承認について」教育総務課報告を求めらる。
田中係長	《議案書に基づき報告》
前川教育長	報告 3「令和元年度 2 月小・中・特別支援学校定例校長会について」学校教育課報告を求めらる。
酒井次長	《議案書に基づき報告》
酒井委員	外国人児童生徒に対して良い取組をしていただけるということで大変感謝している。他市と比較して外国人児童生徒数が多いのはなぜか。
酒井次長	丹波篠山市は外国人児童生徒へ手厚い支援を行っているという情報が、外国人の家族へ流れていると聞いたことがある。また、外国籍の方が働く環境があることも要因の一つであると考えらる。就労形態については、分かりかぬ

酒井委員	<p>るが、一定の期間を丹波篠山市で働いて、他市へ引っ越していく家族が多い。</p> <p>丹波篠山市の外国人家族の流出入やその要因等を可能な範囲でデータを取ることができれば有効に活用できるのではないだろうか。</p> <p>また、外国人児童生徒に対する母語通訳・翻訳及び初期日本語支援事業の（案1、2）を業務委託することにあたりどの程度の費用が必要であるのか教えてほしい。</p>
小林課長	<p>担当課長に代わって答えるため、正確な数字ではないが約2,000万円程度である。これまで市がフォリナーサポーターを雇用して行ってきた事業と比較して予算の増額はないと認識している。県等の補助は含んでいない額である。</p>
中村委員	<p>外国人児童生徒に限らず、教員の不安を取り除く素晴らしい取組であると思う。</p>
井上委員	<p>授業中など教師がすぐに現場で対応できるように翻訳機などの導入も継続して進めてほしい。</p>
酒井次長	<p>タブレットを活用した翻訳機に加え、本年度はポケトークも導入している。さらに学校独自で導入している翻訳機もあり、現場ですぐに対応できるように備えている。</p>
垣内委員	<p>篠山国際理解センターへの業務委託ということであるが、丸投げにならないようにしっかりと情報共有を行い、連携した事業となるようにしてほしい。</p>
前川教育長	<p>報告4「篠山・たまみず・岡野幼稚園区における教育・保育のあり方検討会について」こども未来課報告を求める。</p>
酒井委員	<p>この案件は報告事項ではないと考える。幼稚園の統廃合を含む内容であり、本来は教育委員会で議案として扱い、教育委員へ諮らなければならない事案であったと考える。</p>
前中課長	<p>検討会では、複数案が提示され、委員により協議が行われ検討が進められた。結果として統廃合は行われなかったが、統廃合を含む案もあったため、本来であれば酒井委員の発言のように議決をいただくべきであったかと思うが、緊急性など様々な要因から報告事項として取り扱った。</p>
酒井委員	<p>結果として統廃合が行われなかったから報告事項で良いということではない。緊急性があったとしても臨時教育委員会を開催するなどがあれば理解できたが、今回の対応は、教育委員会制度を軽視していると捉えられかねないことである。そもそも今回のように市長が検討会を設けて、統廃合を含む案件について議論を行うのは、越権行為であると考えます。</p>
前中課長	<p>意見は十分に理解できるが、今回の案件については、緊急やむを得ない案件として、丹波篠山市教育委員会事務決裁規則の第6条教育長等の専決により対応したということと理解いただきたい。</p>
酒井委員	<p>今回の案件については、合議の上で対応すべきであり、教育長等の専決に</p>

前川教育長	<p>は当てはまらない案件であったと考える。教育委員協議会で説明を受けており、担当課で十分に協議を行い、努力をしていたことは十分に理解できるが、教育の中立性を固持するためにも意見をしたい。</p> <p>教育委員会制度を決して軽視している訳ではないが、今回の案件での反省点であったと考える。教育委員協議会等で随時説明は行っていたが、意見のとおり教育委員会内での議決を得るなど、しっかりと手順やプロセスを踏まえて対応すべきであった。</p>
酒井委員 垣内委員 井上委員	<p>制度の形骸化は、市民に影響が出る。今後のことを考えて意見をした。</p> <p>教育委員会として手続きを踏まえた対応ができるよう努めてほしい。</p> <p>今回の検討会では、市長と教育委員会間で方向性の合意が図れていなかったこと、市民に認定こども園化を進める方向性が浸透していなかったことを感じた。検討会の状況は随時報告を受けていたが、今後は他の委員同様に手続きをしっかりと踏まえた対応をしてほしい。</p>
中村委員	<p>今回の検討会を通して、積極的に情報発信を行い、市民に長期的なビジョンを理解いただくことも重要であると感じた。</p> <p>検討会の結果について、新聞で情報を知ったので、今後は重要な情報については、事前に情報共有をしてもらえたら嬉しい。</p>
酒井委員	<p>小学校と幼稚園が併設されており、園長が兼任しているため安心できるという意見を聞いたが、兼任園長の負担や専門知識を有する専任園長を設置する意義など市民に認知してもらう必要があるのではないだろうか。市民は、効果がある予算の使い方を理解した上で意見しなければならないと思う。そのためにも市は、市民へ情報をしっかりと発信してほしい。</p>
前川教育長	<p>結果論となるが、今回の検討会を通して、委員構成の重要性を改めて感じた。最終決定権を持つ立場の人間が委員として構成されると、議論すべき状況での発言が意思決定となってしまふ。委員の意見、専門家の意見を鑑みて、行政としてできる方法を議論し、意思決定をするというプロセスを踏む必要があったように思う。様々な意見をいただき感謝している。</p>
前川教育長	<p>報告5「教育長報告」について報告する。</p> <p>それでは、第12回定例教育委員会をこれで終了する。</p>